

第1976回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和6年2月21日(水) 午前10時開会
午前10時49分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、石井副教育長、
古垣教育総務部長、青木県立学校部長、石井市町村支援部長、井澤財務課
長、無川教職員採用課長、岡島小中学校人事課長
案浦書記長、小島書記、岩城書記、太田書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 日吉教育長が、坂東委員を議事録の署名者に指名した。
 - 会議を公開しないこととする事項について
日吉教育長が、第14号議案から第16号議案までの審議について、会議を公開
しないこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
 - 日程の変更について
日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程につ
いて先に行うこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定
- (2) 報告事項
- ア 県議会令和6年2月定例会提出予定案件について

井澤財務課長（提出理由、専決処理した理由、専決処理の状況について説明）

イ 埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要について

無川教職員採用課長（提出理由、選考試験の対象となる志願区分、採用見込数、試験期日等、主な変更点について説明）

小林委員 加点要件の確認をさせてください。「取得見込みは不可」となっている加点要件がいくつかありますが、大学4年生は取得見込みなので加点要件に該当しないということですね。この加点要件は、どちらかというと大学を既に卒業した実務経験のある方を対象とした加点要件と捉えればよいのでしょうか。

無川教職員採用課長 委員のおっしゃるとおりです。

首藤委員 非常に多岐にわたる選考区分を設け、更に来年度からは大学3年生の受験を認めるということで、いろいろな角度から優秀な人材を確保しようという計画だと思います。素晴らしいと思います。参考資料に一般選考の合格率が30パーセントとあります。世間では小学校の教員採用選考試験の倍率が1倍ちょっとと言われていますが、この合格率を見るとまだまだ狭き門だという部分もあると思います。例えば、一般選考と特別選考との人数の関係や、中学校であれば教科ごとの倍率の違いなど、いろいろな要素があり30パーセントという数字になっているのだと思いますが、倍率の動きについて分かる範囲で説明をお願いします。

無川教職員採用課長 過去の合格率を見ても、一般選考の合格率は30パーセント前後です。

首藤委員 大学では、埼玉県の小学校は倍率が低いからチャンスだと言う先生も多いのですが、この数字を見るとなかなか厳しいものがあり、むしろしっかり取り組みなさいという方が正しいのかもしれないと感じるのですが、いかがでしょうか。

無川教職員採用課長 一般選考だけで見ると合格率は30パーセント前後ですが、小学校の教員では特別選考の臨時的任用教員経験者特別選考A選考及び

B選考でもかなりの人数の方が合格しています。これらを合計しますと相当の人数になりますので、このような合格率になっています。

石井市町村支援部長 この参考資料は、小学校だけでなく、中学校、高校、特別支援学校、養護教員、栄養教員を全て含め、一般選考の合格率が30パーセントであるということを示したものです。小学校については、まだまだ倍率は低い状況です。

(3) 次回委員会の開催予定について

3月11日（月）午前10時

<非公開会議結果>

議事

第14号議案 教職員の懲戒処分について 上程

非違行為を行った西部地区の公立小学校の男性教諭（34歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第15号議案 教職員の懲戒処分について 上程

非違行為を行った南部地区の公立小学校の男性教諭（33歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第16号議案 教職員の懲戒処分について 上程

非違行為を行った川越市立高階中学校の男性教諭（23歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。